

事務事業名	後期高齢者人間ドック・脳ドック受診助成事業		担当	市民生活部 国保年金課 高齢者医療係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～	施策名	6	健康づくりの推進
成果指標	名称		単位	5 年度実績	
	利用率（受診者数 / 対象者数）		%	1.23	
事業概要	後期高齢者医療の被保険者を対象として、疾病の早期発見及び健康の保持増進を図り、さらに、介護予防及び医療費の削減につなげるため、人間ドック又は脳ドックを受診した場合の費用の一部を助成する。助成の条件は、後期高齢者医療の保険料を完納しており、他の健康診査等を受診していない人で、助成額は国民健康保険加入者と同様、健診に要する費用から消費税分を除いた額の2分の1に相当する額とし、上限を20,000円とする。				
5 年度実績・成果・課題	令和5年3月末の後期高齢者対象者数は、10,894人と前年の10,372人と比べ4.8%増となる。また、令和5年度人間ドック・脳ドック受診者数は134人であり、受診率は1.23%である。昨年度の111人の受診で受診率1.07%と比較すると若干ではあるが増加傾向にある。これは、団塊の世代の後期高齢者医療への移行が進んでおり、後期高齢者医療対象者数が増加していることに加え、今まで検診を受けることが習慣づいている被保険者が、後期に移行後も引き続き人間ドックなどの検診を受診していることが、受診者増の一因と考えられる。今後も被保険者の増加に伴い、人間ドック受診者が増加することが見込まれるため、更なる受診助成制度の周知を図り、検診受診者の維持・増進及び健康意識の普及・拡大に努める。				
今後の方向性と具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】				